

アプローチするところ

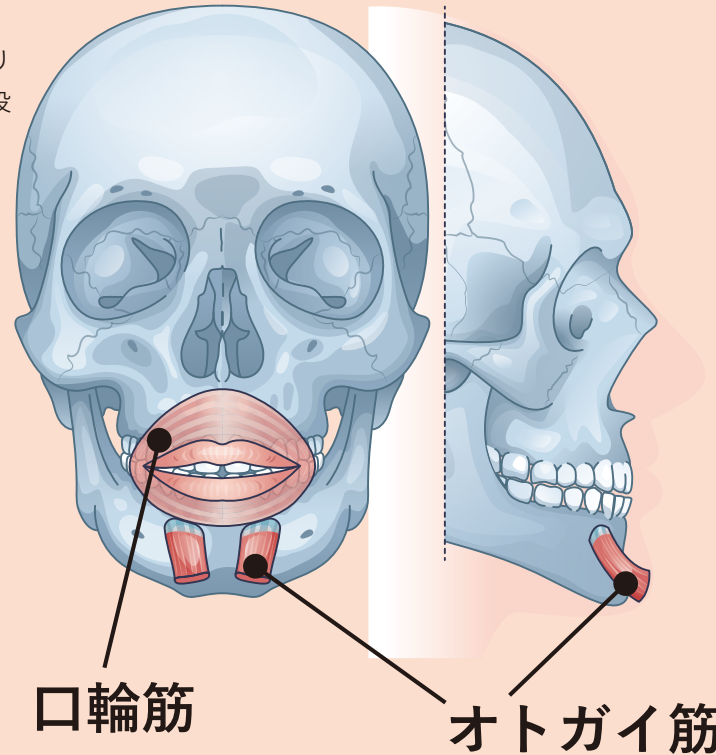
口輪筋

顔の筋肉の中でも特に重要な役割を果たす筋肉の一つです。この筋肉は文字通り、口の周囲を取り囲むように配置されており、口の形を作るのに主要な役割を担います。

口輪筋の主な機能は、口の開閉や口唇の形を制御することです。これにより、食べ物を口に入れたり、噛んだり、飲み込んだりする際の基本的な動作が可能になります。また、発話においても非常に重要で、特定の音の発声には口輪筋の正確な動きが必要です。

さらに、口輪筋は表情の作成においても中心的な役割を果たします。笑顔や怒り、悲しみなど、多くの表情は口輪筋の動きによって形作られます。感情の表現においてこの筋肉は不可欠で、人とのコミュニケーションにおいて大きな役割を果たしています。

加齢や健康状態の変化によって口輪筋の機能が低下することがあります。その結果、表情が乏しくなったり、発話や食事が困難になることもあります。



オトガイ筋

顔の筋肉の中で、特に下唇とあごの下部に影響を与える筋肉です。この筋肉は下顎の中央部に位置し、下唇の下からあごの骨に向かって伸びています。

オトガイ筋の主な機能は、下唇を突き出す動作と、あごの皮膚を上引っ張ることです。これにより、表情の中で「不満顔」や「困惑した表情」を作る際に重要な役割を果たします。また、この筋肉は発話や食事をする際の口の動きにも関与しています。

オトガイ筋の働きは、表情の豊かさに直接影響を与え、感情の表現に重要です。この筋肉が十分に機能しない場合、特定の表情が作りにくくなったり、表情に乏しさが生じることがあります。

また、加齢や健康状態による変化でオトガイ筋の機能が変わることもあり、これが顔の外観や表情に影響を与えることがあります。